

# パソコンでデータ移行の 手順 ～バックアップまで

- ・データ移行は「データが消えてしまう」リスクを理解して行いましょう
- ・個人情報の取り扱いに注意していきましょう

# データ移行できるもの

- ・iOS標準のアドレス帳
- ・カメラロールにある写真や動画
- ・アプリケーションやそのデータ
- ・iPhone/iPadの設定内容(一部除く)

# データ移行できないもの

- 著作権保護がかかっているデータ  
(iTunes Storeで購入した音楽、)動画等:APPLEのIDでPCにログインし一時的にPCにデータを取り込めばOK  
、処理後iTunesからサインアウト、PC連携解除をすること
- 一部Lineコンテンツ(トーク)  
(引き継ぎ条件をそれぞれ調べること)
- 外部ツールを使用して入れたデータ
- 一部設定(iCloudキーチェーンやウォレット等)
- 指紋認証(パスコードやAPPLEIDの入力等をもとめられる)

# データ移行に関する注意事項

- 個人情報を取り扱う為、複数の端末と並行作業しない  
(データ取り違いリスクをとまなう為)
- APPLE IDのパスワードは絶対に聞き出さない  
(後述)
- 移行元のデータ消去は原則行わない
- 100%の移行は保証できないので、一部データが欠落する可能性があることを事前に説明する。(ゲームデータ、Lineのトーク、音楽コンテンツ等)
- データについての保証は行わない。如何なる場合があっても保証ができない旨をお客様へ確実におつたえする。

# 個人情報の取り扱いについて

- APPLE IDについて

APPLE IDには、お客様の住所やクレジットカード番号等、クリティカルな個人情報が大量に含まれています。また、パスワードが分かるとiCloudの全機能を使用できることになる為、遠隔操作によるデータの回覧、消去等が可能となっています。

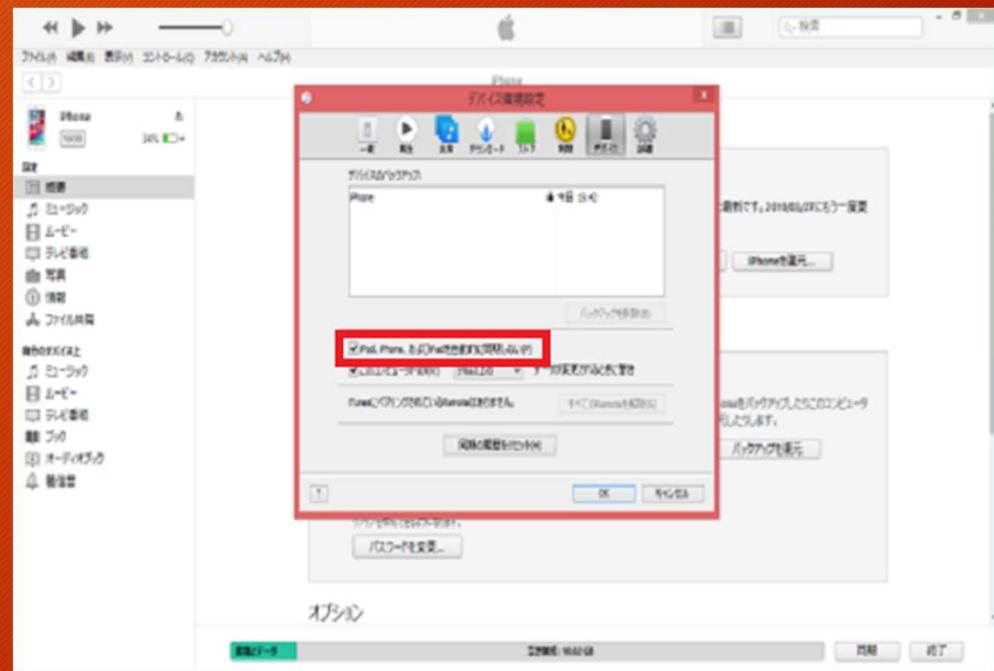
お店とスタッフを守る為にも、ご協力お願い致します。

# データ移行に必要な情報、前提条件

- 端末のパスワードがわかる
- 正常起動し、タッチパネルやドックが正常に動作する
- iOSとiTunesが最新のバージョンであること(場合によりiOSが強制的にアップデートされます)(アップデートを嫌う方もいらっしゃいますが、その場合対応不可の為説明)

## ・iTunesにはじめに必要な設定

・初期設定では勝手に本体を同期する設定があるため、左上の編集タブから、環境設定を押して一般環境設定のデバイスのタブの『iPod、iPhoneおよびiPadを自動的に同期しない』の項目に☑を入れてください。



# パソコンと接続をする

- iPhoneとパソコンをLightningケーブルで接続し、iTunesを起動します。
- 本体の接続用ドライバーが自動でPCに認識されると次のページのようなPCに接続を許可する(iPhoneは『信頼する』)確認がされますのでそれぞれ許可・信頼するボタンを押してください。  
その際にiPhoneに起動パスワードがかかっているならパスワードを入れる必要があります。



ミュージック

ミュージックライブラリには、iTunesに追加した曲やビデオが表示されます。  
iTunes Storeにサインインしているときは、iCloud内の購入済みミュージックも表示されます。

[iTunes Storeに移動](#) [iTunes Storeにサインイン](#)

その後iTunesに右のよ  
うな表示が出るのでその  
まま続けてください。

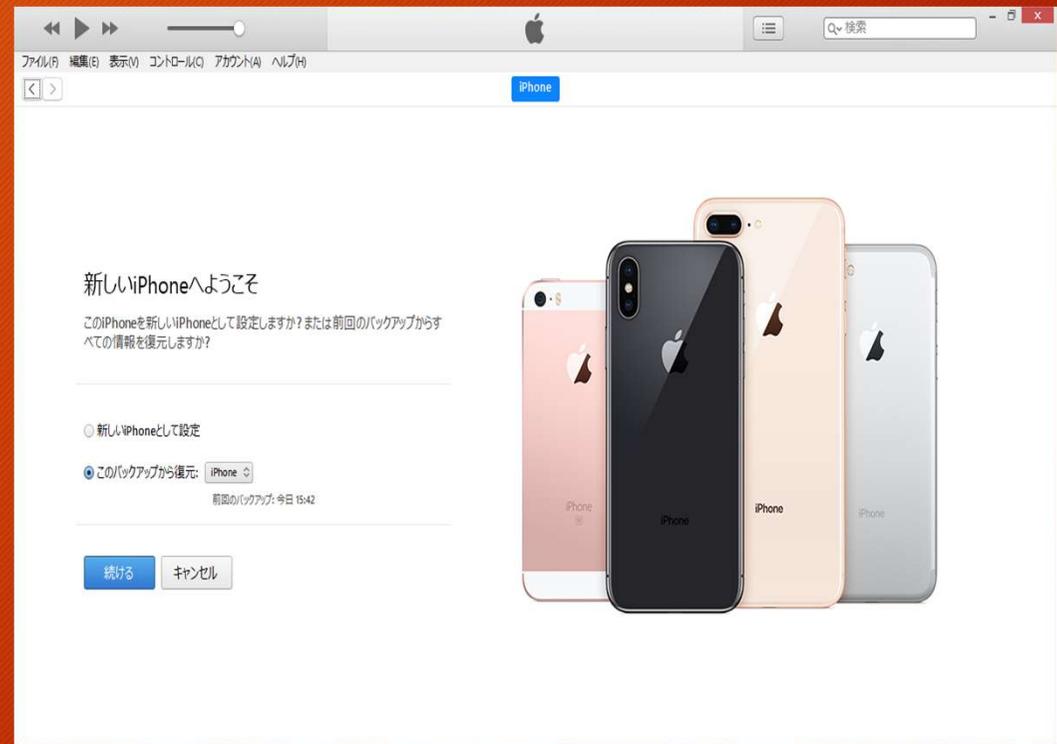
これで接続は完了となり  
ます。



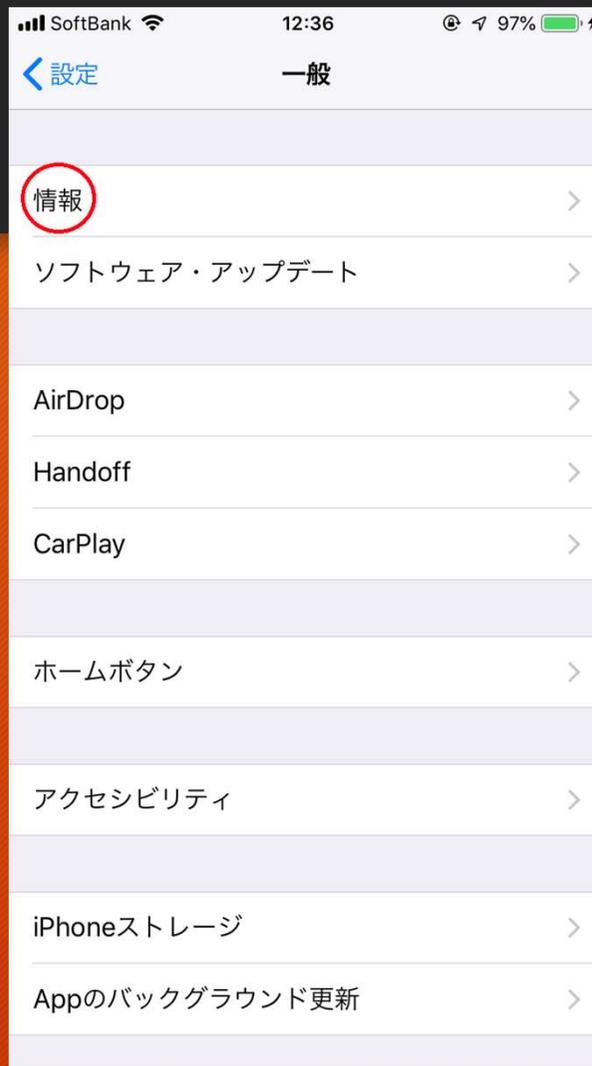
## ・ 設定の際別の表示が出た場合

端末によっては右のような表示がでる場合がございます。

この場合は『新しいiPhoneとして設定』を選びます。



- この場合、iPhoneの設定を開いて一般→情報の中のiPhoneの名前を控えておいてください（勝手に名前を上書きしてしまう可能性があります）。
- この表示で復元を押すとPCのバックアップの選択されているデータが上書きされますが、違うAppleIDのバックアップを入れてしまうとアクティベーションロックがかかってしまい、そのデータのAppleIDとパスワードが必要になってしまいます。



# データのバックアップ方法

・バックアップを取る際、初期状態ではicloudにバックアップ先が☑が入っていますがこのコンピュータに☑を入れてiPhoneの暗号化パスワードを一時的に設定いたします。



• このバックアップパスワードは復元時にデータの精度を高めるために必要ですが、

作業後解除をしないとその後他のPCに設定・バックアップする際に設定したパスワードを求められます。必ず解除しましょう。

もし持ち込みでバックアップパスワードがかかっており、本人が分からなくなっていた場合すべての設定をリセットで解除できます。

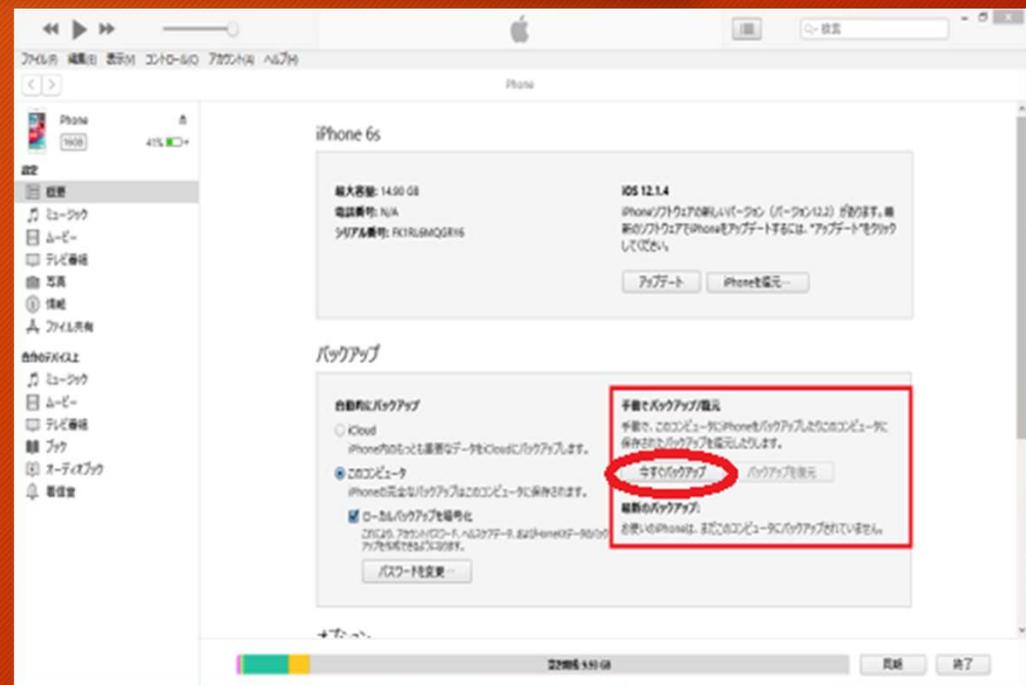
wifi設定等も消えてしまうのですべて同意の上での作業となります。

この際、すべてのコンテンツと設定を消去と間違えることに注意しましょう。

# バックアップをする

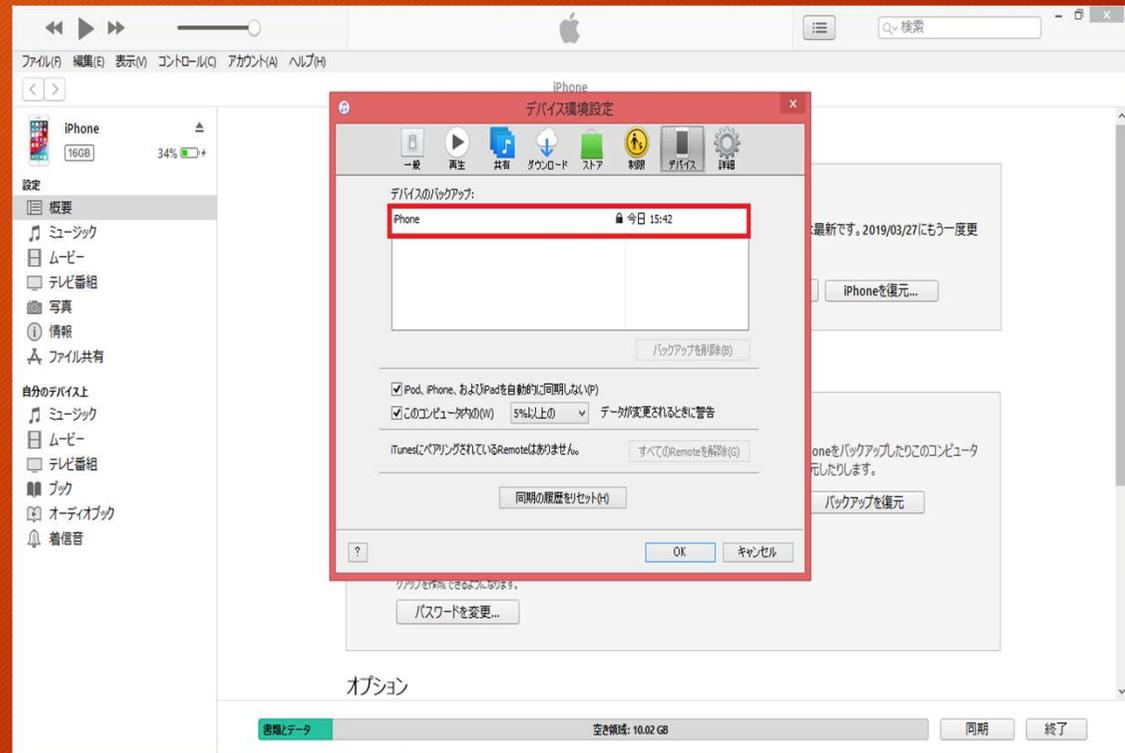
・バックアップを☑項目を確認してから『今すぐバックアップ』を押して開始します。

そのまま上に進行詳細が出ますので処理が終わるまではPCは操作しないでください。



# バックアップデータの確認

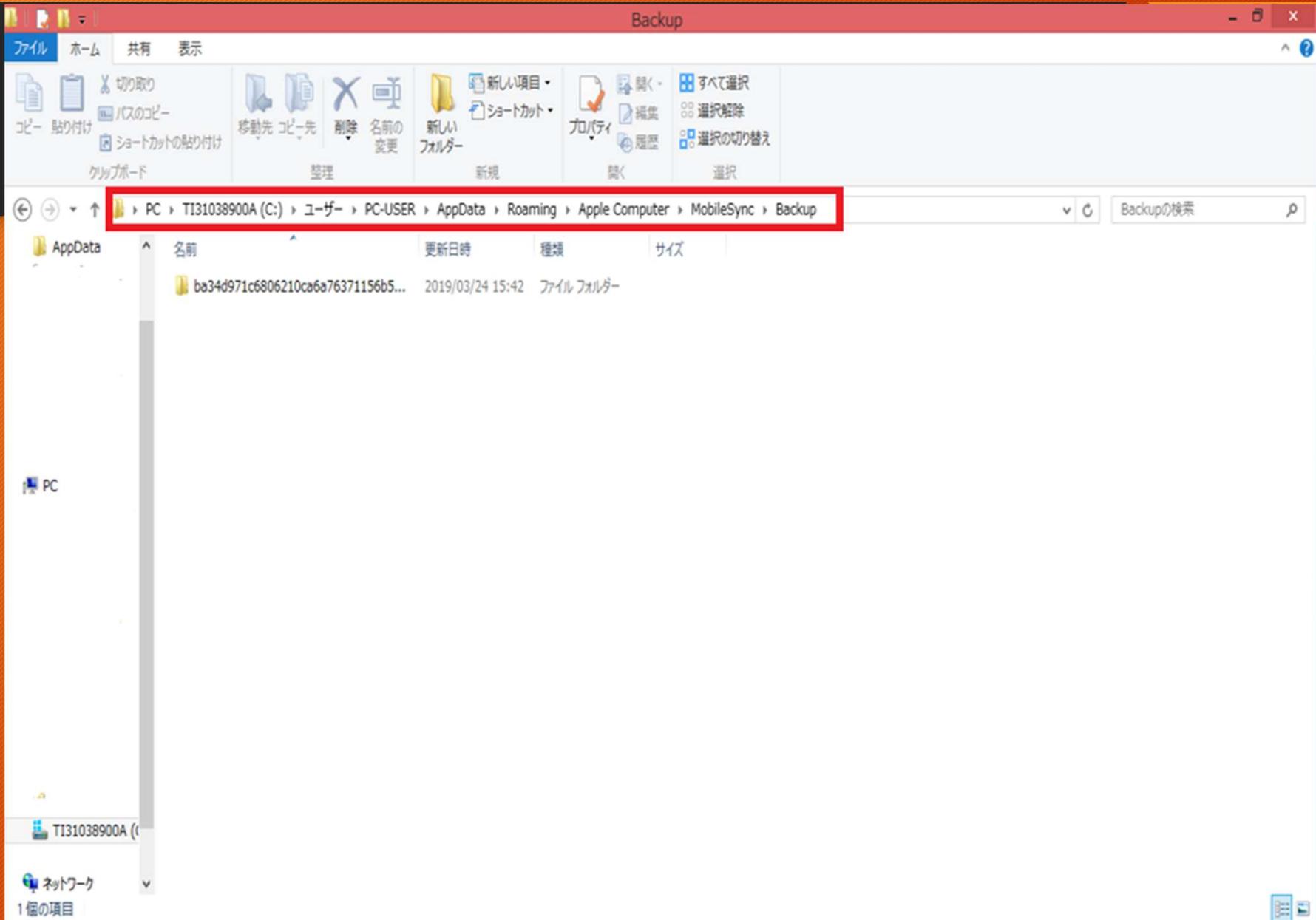
・バックアップの作業が終わったとき、確認として、編集→環境設定→デバイスの枠内にその時刻で取ったバックアップを確認します。



- バックアップデータは、  
C:¥Users¥(ユーザー名)  
¥AppData¥Roaming¥Apple  
Computer¥MobileSync¥Backup

に一般のwindowsでは入っていますが、OSによって  
少々異なる場合がございます。

AppDataファイルはPCの隠しファイル設定を見える  
ようにすると探しやすくなります。



# バックアップを戻す前の注意点

- バックアップを移す端末を出来るだけ初期化状態にしておく。
- オープンロックが分かる状態にしておく。  
(更新時確認されるため。初期化端末は必要不可)
- 極力バックアップを取ったPCで戻すこと。

# データを戻す

・バックアップデータを戻す時はバックアップを戻すボタンを押して戻したいバックアップを選ぶことで戻せます。

このとき、バックアップパスワードがかかっている場合はパスコードを求められます。



## 作業後に行うこと

- ・前に記述した環境設定の中のデバイスからバックアップデータを消去する。
  - ・バックアップパスワードをかけていたなら解除をする。
  - ・環境設定の中のデバイスから『同期の履歴のリセット』を行うこと。
  - ・バックアップデータが戻っているか確認すること。
- (個人情報につながるデータはお客様に来店していただいたときに元のiPhoneとデータを比べていただくことは必ずおこなう)